

令和元年度 道徳教育地域支援委託事業

研究主題 **互いに支え合い 高め合い、生き方についての考えを深める特別の教科 道徳をめざして**

研究の具体

道徳教育の充実を促す指導体制

○指導体制の構築と推進

全教職員が3つの道徳教育推進プロジェクトに所属(①教材P、②連携P、③環境P) 管理職+各プロジェクトのチーフによる道徳ミーティング(各学年団の進捗状況や内容等について情報交換・調整・修正)の実施

①教材P

- ・自分のこととして考えさせる授業の実践
- ・自らの成長やよさを実感させる評価の工夫

②連携P

- ・道徳通信「くすのき」の発行
- ・地域ボランティアを通じた心の醸成

③環境P

- ・SHRを使った朝道徳の工夫
- ・心に訴え、考えさせる掲示の充実

各Pのチーフが、各学年団に分散するように組織化

考え・議論する道徳の授業づくり

○自分のこととして考えさせる授業

中心発問の吟味による、課題意識の持たせ方

○互いに聴き合い、自他の考えをつなげる授業

いろいろな考え方に触れる中で、**多面的・多角的な見方**へと発展させる指導法の探究



○自らのよさや成長を実感させる評価

ローテーション道徳による様々な教諭の評価と、リフレクションシートを活用した内省

保護者・地域との連携

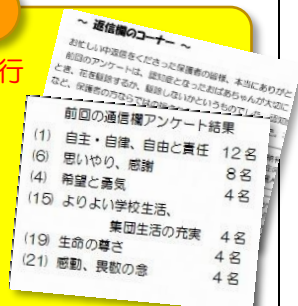
○道徳通信「くすのき」の発行

保護者や学校評議員、校区内の公民館に配布

返信欄に発問形式を取り入れたり、次号で返信内容を紹介したりして、**双方向性のある通信**を旨とする

○地域活動等と関連づけた心の醸成

総本山善通寺でのお接待ボランティアや善通寺養護学校での夕涼み会ボランティア等の**触れ合い活動**を通じた自己有用感の醸成



全校・学年一斉道徳

○地域人材を活用した一斉道徳

地に縁があり様々な立場で活躍しているゲストティーチャーを招き、「勤労」「よりよく生きる喜び」「命の尊さ」「ことばの大切さ」等のテーマで講話を頂き、道徳心の醸成を図る取組

- ・石崎真彦さん(農業)
- ・西村光市さん(日本航空 ボーイング副操縦士)
- ・森 合音さん(医療センターアートディレクター)
- ・市川智子さん(FM香川ラジオパーソナリティ)



研究の検証及び改善の手立て

下のグラフは、現3年生の県学習状況調査の質問紙調査(1・2年次)と本年11月に本校で同じ内容の調査をした経年比較のグラフである。これらの結果、「人の気持ちが分かる人間になりたいか」などの道徳的心情に関する複数の項目で、成果が見られる。しかし、「人が困っているときは、進んで助けるか」等の実践的態度については、やや消極的な回答が見られる。道徳心の醸成においては徐々に成果が表れはじめているが、実践力の育成については今後の課題と捉え、教育活動全般を通じて研究を進めていきたい。

人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



人が困っているときは、進んで助けていますか。

